

「2014 年ベトナム社会科学院・ハノイ国家大学サマースクールプログラム参加報告書」

京都大学文学部 2 回 佐藤衣美

① 学習成果

今回のプログラムに参加して、日本を客観的に見ることができ、また日本とベトナムの発展のために何とか貢献したいという気持ちが強くなりました。私たちが普段何気なく住んでいるこの日本という国に対して、強いあこがれを持ち将来に夢を馳せながら勉強しているベトナムの学生たち。彼らを見てみると、自分が日本人であることの誇りを持つとともに、彼らの期待に応えられるように日本を立派な国にしなければならないという強い責任感を感じるようになりました。2週間という短い間に多くのベトナム人学生たちと交流をしましたが、彼らは全員自分のためではなく将来のベトナムの発展のために一生懸命勉強しているように思えました。このような経験を通して、私の中で大きな変化が生じたように思います。それは、将来日本で働くということは、日本人のためではなく世界の人々のためでもあり、誇りと責任感を持たなければならないということに気づいたということです。また、この研修を通して、自分が日本という国に関して無知であることを痛感しました。私は文学部で現代史を専攻する予定です。なので、歴史という分野から、日本における正しい歴史認識を身に付け、中立な立場から世の中における物事を判断していきたいと思います。

② 海外での経験

平日は特別講義や日本語授業に参加しましたが、休日は参加者全員で小旅行をしました。また、研修中2回の実地研修があり、チャン・アンやダウン・ラム村へ行きました。それぞれの場所ではベトナムの大自然を満喫するほかに、ベトナムの歴史上の人物に関係のある場所へ行き、その都度ベトナム史を勉強しました。どの日もベトナム人学生が案内をしてくれ、説明も受けましたが、彼らが日本語を一生懸命話そうとしている姿は大変印象深かったです。

③ プログラム内容

平日は大学講師による特別講義と日本語授業の参加、そしてベトナム語研修の三つがありました。特別講義では、教授がベトナムの文化や歴史、世界の中での位置づけ（ASEAN）などを教えてくださり、どれも興味深い授業ばかりでした。特に、歴史学を勉強している私にとって、様々な国と歴史的につながりのあるベトナムをととても面白く感じ、たくさんの資料を読んで勉強しようと決意しました。

④ 進路への影響について

今回のプログラムが自分の進路に深く影響したことは明らかです。まず、歴史学を勉強するにあたって、一つの視点にとどまらず様々な視点から物事を判断することが必要不可欠であることを学びました。例えば、日本から見たフランスとベトナムから見たフランスは全く違います。このように、これから専攻する歴史学の勉強の方法の一つをいち早く手に入れたことは将来プラスになることは間違いありません。そして、日本を客観的に見ることができたおかげで自分に責任感を持つことができました。このことは将来就職した際に、日本のみならず世界の発展に貢献できることにつながると私は信じています。